

滋賀大学経済学部後援会だより

発行／彦根市馬場一丁目1-1 滋賀大学経済学部後援会 発行責任者／戸田 茂
URL: <http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=31>

目次	国際交流 7
後援会会長・学部長等挨拶 1	就職活動と支援・就職状況 9
卒業式・答辞 2	進学先・就職先一覧 12
入学式・誓詞 3	資格取得等報奨制度 14
入学状況・大学紹介 4	平成26年度決算・後援会総会 . . . 15
学生活動だより 6	平成27年度予算・役員名簿 . . . 16

会長挨拶

後援会会長 戸田 茂



戸田後援会会長

ご入学おめでとうございます。歴史ある学舎での四年間は、自立への肝要な期間となることでしよう。家族で来訪頂き、皆様と一緒に彦根漫遊を重ね、絆を固めて下さい。

後援会皆様のお陰をもちまして、資格取得等報奨制度を設けることができました。この三月に第一回目の目録贈呈をしましたところ、全ての学生から、更なる資格取得・留学等のステップアップ資金に充当するとの言葉を聴きました。全学生が有意義な学生生活を満喫する為に、皆様のご協力をお願い申し上げます。尚、経済学部のHPをご覧頂くと共に、ご意見を寄せて頂きますように。

学部長挨拶

経済学部長 小倉 明浩

後援会会員の皆様には、日頃より多大なご支援をいただいておりますこと、まず御礼申し上げます。滋賀大学経済学部は、今日の社会が求める教育研究機能の強化を図るための改革案を策定しているところです。この改革案は現在の学生諸君に直接適用されるものではありません。けれども、本学部が社会に評価される存在であり続けること、その評価を

更に高めていくことは、すべての本学部卒業生にとって価値あることであると考えています。経済学部長として、その目標を実現するよう学部運営に精励してまいります所存です。今後ともご支援を賜りますようお願い致します。

副学部長挨拶

総務・企画担当 大瀧 巖

昨年度に引き続き、総務・企画担当として、カリキュラム改革や学習支援体制の強化を担当致します。カリキュラム改革では、新学部設立の動きと連携して経済学部の機能強化を目指します。学習支援では、反転授業の実験的な導入などアクティブラーニングの強化を目指します。後援会の皆様のご支援をお願い申し上げます。

学務学生生活担当 太田 善之

昨年度に引き続き、学務・学生生活担当として、学生の入学から卒業までに至る学業及び生活をサポートする職務を担当致します。経験上、皆様のお子様とのかかわりが最も多い立場であり、その意味では常に学生個々の視点に立って、彼らにとって有意義な学生生活を送ることができるよう努力してまいります。よろしくお願い申し上げます。

入試・広報担当 井手 一郎

昨年、中央教育審議会が高校大学の教育と大学入学選抜の抜本的な

改革を提言しました。この改革案が今後の実践的な試行錯誤の中でどのような紆余曲折をたどることになるのか現時点では判然としませんが、提言の良い部分を咀嚼し、本学の主体的な改革の過程に吸収していくことは、取り組むべき課題の一つと考えます。今後ともご支援のほど、よろしくお願い致します。

副研究科長挨拶

永田 えり子

大学院とは知のイノベーションを行う場所です。本研究科は複数指導体制と長期履修制度といった工夫によって、時間の少ない方々にも良質な研究成果を生産していただける環境を整えており、そして実際に成果を出しております。お子様方はもとより、皆様方ご自身につきましても、どうぞ進学をご一考下さい。ともに新しい知を創造できることを期待しております。



後列 大瀧 井手 太田 各副学部長
前列 永田副研究科長 小倉学部長

平成26年度卒業式

平成26年度滋賀大学卒業証書・学位記、大学院研究科学学位記、特別支援教育専攻科修了証書授与式を3月25日午後1時から、大津市のびわ湖ホールで挙行了しました。

今年度は、教育学部244名、経済学部553名、大学院教育学研究科48名、大学院経済学研究科37名、専攻科8名、大学院経済学研究科博士後期課程5名の合計895名が本学を巣立ちました。

佐和学長からの学部、大学院、専攻科の代表者への卒業証書等の授与に続き、学長告辞で「すべての人々



告辞を述べる佐和学長

が豊かで幸せな社会を創ることを目標に掲げ、それぞれの職場で御活躍なさることを祈念します」とのほなむけの言葉が贈られました。続いて、在校生を代表して教育学部3回生の伴直樹さんからお祝いと感謝の言葉、また、卒業生を代表して経済学部卒業生の加藤廣子さんから「戦後70年目の節目となる年に社会へと巣立つ私たちは、平和の意味を深く考え、困難な状況の中でも努力を怠らず、常に学び、自己研鑽に励んでそれぞれの立場で社会に貢献していきます」との決意と教職員、在校生への感謝の言葉が述べられました。

答辞

桜の蕾も開き始め、琵琶湖に吹く風にも春を感じる季節となりました。

本日、平成26年度滋賀大学卒業証書授与式にあたり、諸先生方、ご来賓各位、並びにご家族の皆様方にご臨席を賜りましたことは、私達卒業生にとりましてこの上ない喜びです。卒業生を代表し、厚くお礼申し上げます。

只今、佐和学長から温かい励ましのお言葉を賜り、また在校生の方から心のこもった送辞を頂き、卒業生一同心より感謝申し上げます。振り返りますと、4年前、私達の大学生活は、東北地方を襲った未曾有の東日本大震災の直後にスタート

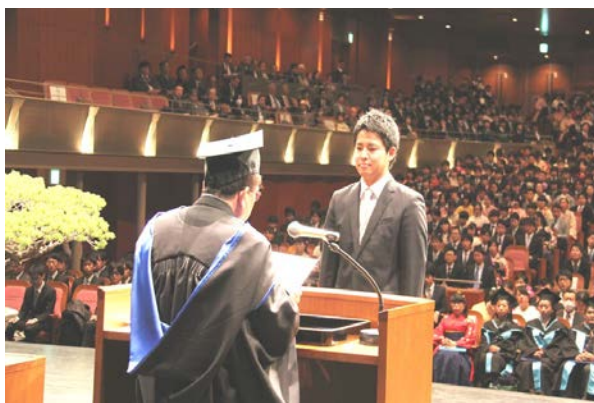


答辞を述べる加藤さん

しました。自然災害、原発事故など社会や人間の営みを真摯に思考する4年間でした。不安と期待を胸に始まった大学生活も、はや4年の歳月が過ぎ、無事に今日と言う日を迎えることができました。諸先生方の熱心な指導の下、私には若い学生の皆様と共に、勉学に打ち込める喜びをかみしめる日々でした。今、世界的に広がる格差に対して警鐘を鳴らすトマ・ピケティ氏の著作「21世紀

の資本」がベストセラーとなつていますが、教育の機会までもが世代間継承される中、歴史と伝統ある本学が、学びたい者誰にも門戸を開けている懐の深さに感謝の念を禁じえません。愛情あるご指導ご鞭撻を頂いた先生方、職員の皆様への深い感謝の気持ちと決意を胸に本日新たな社会へと第一歩を踏み出します。

私達を取り巻く社会は今グローバル化の中で様々な問題を呈しています。世界では宗教や人種間、国家間の対立から暴力と怨恨の連鎖が狂気のテロリズムを生み、大気汚染や温



学長賞表彰を受ける中山さん

暖化による地球環境の破壊が進行し、いくつかの国では国家財政の危機的状況が生まれています。国内に目を転じれば未だ制御できない原発

事故による放射能汚染水の漏洩、残酷な少年犯罪、改善されない国家財政のプライマリーバランスの赤字、労働行政の更なる規制緩和による不安定雇用の増加、少子高齢化等困難な問題が山積しています。

このような厳しい社会に旅立つ若い仲間の皆さんは新生活への大きな期待と共に不安も入り混じった気持ちでしょう。しかし本学で学び培われた普遍的な知識は人生の折々に必ずや糧となり、それぞれの道を切り開く原動力となるものと信じます。暗いニュースが多い中で昨年は3名の日本人研究者がノーベル物理学賞を受賞しました。スポーツ界でもテニス、スキー、スケート、水泳等の種目で世界的な活躍を見せる選手も私たちを励ましてくれました。戦後70年目の節目となる年に社会へと巣立つ私達は、平和の意味を深く考え、困難な状況の中でも努力を怠らず、常に学び、自己研鑽に励みそれぞれの立場で社会に貢献していく所存です。

最後になりましたが、滋賀大学の益々のご発展と、諸先生方、職員の皆様、ご来賓やご家族の方々のご健康、ご活躍、並びに在校生の皆様のご健闘をお祈り致しまして、答辞とさせていただきます。

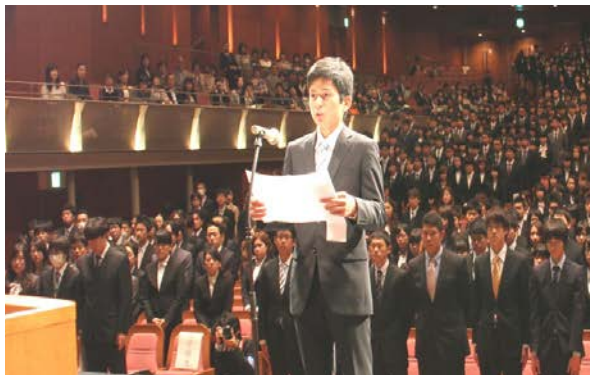
平成27年3月25日

卒業生代表
経済学部 加藤廣子

平成27年度入学式

4月6日(月) 大津市の「びわ湖ホール」において挙行され、教育学部252名、経済学部606名、大学院教育学研究科59名、大学院経済学研究科38名(うち博士後期課程4名)、特別支援教育専攻科11名の総計966名が、学生生活の新しいスタートを切りました。

式典では、学歌斉唱ののち、入学生を代表して経済学部上原竜弥さん



宣誓する上原さん

が宣誓を行い、「学則を守り、学生の自分を尽くすこと」を誓いました。引き続き、佐和学長から「4年後の君たちが、インテレクチュアルな専

誓詞

この度滋賀大学に入学を許可されました。つきましては本日ここに学則を守り学生の自分を尽くすことを誓います。

平成二十七年四月六日

滋賀大学入学学生代表
経済学部 上原 竜弥

門職業人として本学を巣立つて行かれることを願う」と告辞がありました。

続いて、来賓を代表して経済学部 水会戸田一雄理事長から祝辞があり、



祝辞を述べる戸田水会理事長

その後在學生を代表して教育学部4回生の山田穂花さんから歓迎の言葉が述べられ、入学を祝しました。式典終了後新入生オリエンテーション「キャンパスライフ・イン・滋賀大学」が開催され、健康に関する講演会と、在學生からキャンパスライフの紹介があり、入學生は、これから始まる大学生活に期待に胸を膨らませていました。



経済学部学生によるプロジェクトの紹介

平成27年度 入学状況

入学試験状況（経済学部・大学院経済学研究科）

区分	定員	志願者	受験者	合格者	入学者
昼間主	500	2,973	1,834	670	539
夜間主	50	202	190	94	47
3年次編入	20	89	72	37	20
計	570	3,264	2,096	801	606

前期課程	42	79	76	40	34
後期課程	6	8	8	5	4
計	48	87	84	45	38

滋賀大学入学者一覧

経済学部	606	
大学院 経済学研究科	前期課程	34
	後期課程	4
教育学部	252	
大学院教育学研究科	59	
特別支援教育専攻科	11	
入学者合計	966	

都道府県別入学者数（経済学部（3年次編入は除く））

北海道	4	0.7%	福井県	14	2.4%	奈良県	15	2.6%	佐賀県	1
秋田県	1	0.2%	長野県	6	1.0%	和歌山県	4	0.7%	長崎県	4
山形県	1	0.2%	岐阜県	59	10.1%	鳥取県	4	0.7%	大分県	1
栃木県	2	0.3%	静岡県	8	1.4%	島根県	3	0.5%	宮崎県	5
埼玉県	2	0.3%	愛知県	95	16.2%	岡山県	5	0.9%	鹿児島県	3
千葉県	1	0.2%	三重県	20	3.4%	広島県	7	1.2%	沖縄県	1
東京都	2	0.3%	滋賀県	76	13.0%	香川県	2	0.3%	留学生	14
神奈川	1	0.2%	京都府	107	18.3%	愛媛県	4	0.7%	その他	2
富山県	4	0.7%	大阪府	38	6.5%	高知県	1	0.2%		
石川県	4	0.7%	兵庫県	62	10.6%	福岡県	3	0.5%	合計	586



◆ 事業の取り組み紹介

証券アナリスト試験合格支援体制を整備

ファイナンス学科教授 楠田浩二
背景と目的

1980年代以降の金融技術革新（先物・オプション等の新型保険の普及、ポートフォリオ最適化・管理等の金融工学の発展）と金融システムの市場型化（貯蓄から投資へ、銀行中心型から市場型間接型金融へ）、所謂「金融革命」は金融機能を飛躍的に高度化しました。こうした中で発生した世界金融危機を背景に、従来のリスク管理技術・制度の高度化に加え、これにより一層高度化した金融技術・制度を習得し将来の市場型間接金融中心の金融システムを担える「高度金融専門人材」が待望されています。特に、平成バブル崩壊以降長期停滞に喘ぐ我が国にとっては、イノベーション案件の真偽を見極め、リスク・マネーを持続的に供給出来る金融システムの再生は喫緊の課題であり、これを担う高度金融専門人材の育成は金融機関に

あると認識しています。一方、本学部は4単位コア科目、

国立大最大規模の会計学科、国立大唯一のファイナンス学科、学習教育支援室・学習ポートフォリオ等の自主的集団学習環境、少人数教育体制等に特色・強みを有しています。

証券アナリスト試験合格支援体制の整備は、こうした本学部の特色・強みである教育資源を結集し、社会的要請の強い高度金融専門人材を育成する為の教育体系の構築を目的としています。しかし殆ど全ての大学教育改革がそうであるように同目的達成の途上にも、学生の学習意欲が非常に低いという最大の障害が横たわっています。そこで着目したのが「証券アナリスト試験」です。

証券アナリスト試験の戦略的活用

「証券アナリスト試験」は日本証券アナリスト協会により提供される1次・2次からなる試験であり、同2次試験合格と3年間の実務経験により日本証券アナリスト協会検定会員資格が与えられます。1次試験は「証券分析とPM（ポートフォリオ・マネジメント）」、「財務分析」「経済」の3科目、2次試験は「証券分析とPM」「CF（コーポレート・ファイナンス）」と企業分析「市場と経済」「職業倫理・行為基準」の4科目と金融・経済の広範囲に亘っており、高度金融専門人材を養成する目的に適合していると思われました。また、2次試験合格は一流金融機関からも高く評価されていますので、就職活動前の2次試

合格は学習意欲の必ずしも高くない学生に対しても受験勉強への強力な動機付け足り得ると判断しました。

三位一体的運用

本体制は、講義体系の整備、自主的集団学習環境の整備・活用、少数教育体制の活用の三位一体的運用に立脚しています。

講義体系の整備については、試験の中核科目である「証券分析とP M (1次・2次)」、「CFと企業分析」、「財務分析」における財務会計にそれぞれ対応する「証券分析とP M I・IV」、「CF I・II」、「証券アナリストのための財務分析」を昨年度新設しました。1次試験の「経済」「財務分析」は4単位コア科目の「マクロ・ミクロ経済学」「簿記会計」、会計学科の「財務諸表分析論I」等を活用し、このほかの必要科目は非常勤講師の任用により対応しています。なお、「証券アナリストのための財務分析」は日本証券アナリスト協会寄付講座です。日本証券アナリスト協会様にはこの場をお借りまして厚く御礼申し上げます。

自主的集団学習環境の整備・活用

では、学生サークル「証券アナリスト研究会」を昨年度新設し学習支援室のSA制度も利用しながら毎週勉強会を実施しています。昨年度は1次試験受験者6名全員が合格し、1次試験勉強会は1次試験合格者、2次試験勉強会は2次試験合格

格者がそれぞれ指導する最終的な体制が整備されつつあります。入会時は金融知識・分析力が乏しい上、学習意欲も必ずしも高くなかった研究会生諸君が試験勉強、輪講を通じて短期間で成長し、今は2次試験合格に向けて意欲的に勉強に取り組みながら下級生を力強く指導している姿をみていますと、本体制の教育効果に一定の手応えが感じられます。

少数教育体制の活用について

筆者の専門演習及び基礎演習1科目を証券アナリスト試験対策科目として割り当てることにしました。これらの演習では、講義体系では対応出来ない分野や過去の難問題の演習を対象としています。

本体制は経済的支援体制も整備しています。同試験を受験するために通信教育講座を受講する必要がある、1次試験の同講座受講料は一般受講者の場合55,500円ですが、本学部は日本証券アナリスト協会法人賛助会員ですので本学部生は49,400円で受講できます。そして、昨年度後援会にご創設いただきました「資格取得等報奨制度」のお蔭で、合格者に対し1次試験30,000円、2次試験40,000円、0円の報奨金がそれぞれ支給されることとなりました。後援会の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、今後とも証券アナリスト合格支援体制にご支援・ご協力を賜りますようお願い致します。

経済学部附属史料館について

史料館専任教員 青柳周一

経済学部附属史料館は、「主に滋賀県下における歴史資料の散逸を防止し、その保存と学術的活用を図ることにより、経済史・経営史及び社会史等の関連諸学の発展に寄与すること」を目的とする研究・教育施設です。県内各地に伝来した古文書をはじめ歴史資料を多数収蔵しており、古文書は約一七万六〇〇〇点、民俗資料も約二一〇〇点にのぼります。

彦根高等商業学校以来、本学では近江商人に関する研究と教育を大きな特色としてきました。彦根高商に設置されていた近江商人研究室を母体として、昭和二五年(一九五〇)に設立されたのが当史料館です。昭和二七年一二月には、国から博物館相当施設に指定されました。

当館で収蔵する近江商人関係史料のうち、代表的なものとしては日野の「中井源左衛門家文書」や近江八幡の「西川伝右衛門家文書」、伊藤忠商事株式会社・丸紅株式会社との創業者である「伊藤忠兵衛家文書」とその本家の「伊藤長兵衛家文書」などが挙げられます。近年は伊藤忠商事や丸紅などから企業史資料もお預かりして、調査・研究を進めています。

さらに当館では、近江国の村や町の古文書も数多く収蔵しています。中でも「菅浦文書」「今堀日吉神社

文書」「大嶋神社・奥津嶋神社文書」は、鎌倉時代頃から発達した自治的村落である惣村に関する史料群で、国の重要文化財に指定されています。

これら古文書など歴史資料は、県内外の個々人や自治会(旧大字や町など)から寄贈・寄託いただいたものがほとんどです。当館への新たな寄贈・寄託のご依頼は、今でも毎年寄せられています。

当館では、古文書を三階の第一・二書庫で保管しています。古文書は文化財害虫やカビなどの被害を受けやすいので、寄贈・寄託先から運ばれてきた古文書は、防虫・防カビのために燻蒸を施してから書庫へ搬入します。書庫は、外部の温湿度の変化による影響を緩和する二重壁や、古文書を収納するための専用書架などを備えており、適切な環境で古文書を永く保管することが可能です。

歴史資料の増加により、従来の書庫は手狭になってきました。そこで、昨年新築された総合研究棟(土魂商才館)二階に第三書庫を設け、渡り廊下で史料館本体と接続しました。

当館では歴史資料を原則として全て一般公開しており、二階閲覧室で実際に手にとって閲覧することが可能です。また、古文書を用いながらくずし字の読み方を教える「古文書解説」といった授業も開講しています。しかし歴史資料を公開し活用するためには、まずは一点ごとに内容

を調査してデータを取り、目録を作成しなければなりません。こうした地道な調査と整理作業が、当館でのあらゆる事業の基礎となります。

また当館では、史料目録と共に論文や研究ノートなどを掲載した『研



附属史料館外観

究紀要』を年一回刊行しています。さらに一階には展示室があり、ここでは近江商人の商用道具や古文書などを展示する常設展と、春・秋の年二回開催する企画展をご覧いただけます（ともに観覧無料）。

史料館の建物は平成七年（一九九五）に竣工したもので、今年で新営二〇周年を迎えます。これを記念して、今年の秋季企画展では重要文化財「菅浦文書」を多数公開いたします。ぜひご覧にお越しください。

平成二七年度 附属史料館新営二〇周年記念春季展示のご報告

春季展示は「江戸時代の村に生きる―菅浦共有文書から」と題して、五月一日〜六月一二日の日程で開催いたしました。後援会の皆様方にもご来館いただき、誠にありがとうございました。

学生活動だより

天皇杯・皇后杯 平成26年度全国日本卓球選手権大会（一般の部）に出席

本学部3回生（卓球部）堀本直孝君が、平成26年9月28日に草津市



総合体育館で開催された「平成26年度全日本卓球選手権大会（一般の部）」滋賀県予選男子シングルスにおいて見事、第2位に輝いたことにより、「天皇杯・皇后杯 平成26年度全日本卓球選手権大会（一般の部）」（平成27



滋賀県予選（草津市総合体育館）

年1月12日〜18日…東京・代々木第一体育館）に出席しました。

「天皇杯・皇后杯 平成26年度全日本卓球選手権大会」は、卓球の日本一を決定する国内最高峰の大会です。今後、堀本君をはじめ本学部卓球部の益々の活躍が期待されます。ご声援をよろしくお願い致します。

全日本学生ボードセーリング選手権大会大学対抗戦において3位

平成27年3月5日〜8日に和歌山セーリングセンターで開催された「2014年度全日本学生ボードセーリング選手権大会大学対抗戦」において、本学ウインドサーフィン部が見事3位に入賞しました。

本大会は、今回の開催で39回目の開催を迎えた伝統と歴史のある大規模な全国大会です。

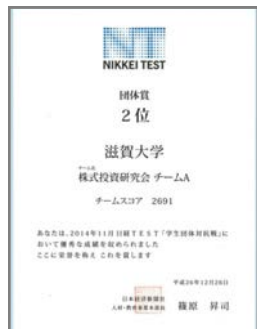


その大会において滋賀大学歴代最高の成績を収めることができました。

経済学部株式投資研究会

「日経TEST」において全国2位 個人の部では3位、4位

本学部の「株式投資研究会」のAチームが、2014年11月開催の



「日経TEST」において、生団体対抗戦」に惜しくも団体三連覇はなりませんでしたが、東京大学を含む全国85団体中、堂々の団体賞2位を受賞しました。

参加メンバー

- ・チームA（7名）
- 4回生…金山健、丹羽伸茂、山口正倫
- 3回生…阿久根成哲、遠藤巧稀
- 岡村加奈、後藤大地

- ・チームB (5名)
 - 2 回生：伊藤雅浩、藤浦正典
 - 1 回生：小山幹生、久岡賢治
- 眞鍋智生

また、個人の部においても、山口正倫君が全国3位(前回2位)、丹羽伸茂君が同4位(前回8位)に入賞し、日頃の成果を発揮しました。

なお、下回生参加のチームBは惜しくも11位となりましたが、今後の活躍が期待されます。

バドミントン部女子チーム 近国優勝

平成26年8月19・20日に開催された第52回近畿地区国立大学体育大会(大阪市中央体育館)において、



本学部バドミントン部女子チームが昨年度に続き今年度も

体優勝を成し遂げました。全参加校10校の中からの見事な優勝で、一昨年度より連続優勝が続いています。連覇の継続を目指し、今後の活躍が期待されます。



留学体験記

◆交換留学

タイ・チェンマイ大学
経済学科 浅野祥平

私は、約4か月半タイのチェンマイ大学に留学をした。この留学を総括すると大きく分けて2点に尽きる。1点目は「後悔」、2点目は「刺激」である。

○「後悔」

最初に挙げた「後悔」というのは、語学面に対して強く抱いている。私が留学を始める前、タイ語を勉強することを怠ったが故に、チェンマイでの生活は文字通りゼロからのスタートそのものであった。私は、放課後や休日には外出をし、街を歩いているタイ人に話しかけることによってタイ語の練習を行うようにした。話しかけたのは屋台で暇そうにしているおばちゃんや、お寺にいる高尚そうな僧侶まで様々だったが、それが功を奏したのだろうか、1セメスターを終えるころには友達や先生とコミュニケーションをとることができるようになった。しかしながら、まだまだ不十分であることは認めざるを得ない。自分でもまだ



バンコク ファランポン駅構内

まだ伸び代があると感じていたので、1セメスターで帰国するのは非常に悔やまれた。

○「刺激」

その中でも2点目に挙げた「刺激」を得たことは確かである。私の当初の留学の目的は、タイの文化を理解するとともに個人的に大変興味があった、タイにおける交通インフラの現状をこの目で確認するということであった。私が特に注目したのは鉄道の現状であったが、結論から述べると、車依存社会のタイにおいては鉄道が極めてマイナーな存在であるということが改めて実感できた。実際に、バンコク〜チェンマイ間を結ぶタイ国鉄北本線、総距離751・42kmの道のりを15時間かけ

て完乗したのだが、その計画をタイ人の友達に話してみると、「盗人に気を付けて」「汚い」「遅いからやめたほうがよい」「心配だ」と何度も言われてしまった。タイ人がそのように言うのもわからないでもない。同区間ならば飛行機を利用すれば1時間もかからないし、実際に私が乗車した一等車においてもゴキブリが現れるような現状であるし、乗車する数日前にも別の区間で脱線事故があったくらいだ。タイ人の主な移動手段は車や原動付自転車であり、街中で慢性的となっているひどい渋滞を見ても、いかにそれらが重宝されているかは明らかである。私はこのような現状を目の当たりにして、ふつふつと悔しさがこみ上げてきた。なぜこれほど、タイにおいて鉄道が虐げられているのか。私の考えの中では、鉄道が交通インフラの重要部分を担うことはもはや当然であったため、かなりの衝撃を受けた。将来的に、鉄道車両メーカーやインフラ関連の職に就きたいと思っていたため、今回のこの経験と見聞きしたことは、将来にとっての大きな「刺激」となった。できることから、仕事をするうえで私のタイ語の伸び代を埋めることができるような、かつタイの鉄道インフラに関わるような仕事がしたいと思っっている。そんな感じで、まだまだ未熟なインフラ事情を私の手で変革させてみせるという野望を、私に生じさせ

てくれた今回の留学は結果的に良いものだと総括することができた。

◆短期海外研修
オーストラリア研究2015

経済学科 森永 將 義

中学、高校、大学で習ってきた英語とは違ったオージリーイングリッシュ(オーストラリア独特の英語)が学べたことがとても興味深かった。それに加えて他国から留学に来ている留学生からも少し言葉を教えてもらえたことで英語以外にも学べ



メルボルン St.Michael's Church 右から2人目森永さん

る語学があった。言葉以外にも表情(特に眉)や、身振り手振りを利用して相手との意思疎通を図ろうとするようになったことで自分からの情報

発信のすべが拡大したと実感できた。また他人への親切心は、日本と比べてオーストラリアの人々はとて

ち帰って取り入れていこうと思った。

一番感動した経験は人のやさしさ、陽気さだった。外国人にとつて日本人がいかに忙しそうで悲観的であるかを実感させられた。しかしその分オーストラリアに滞在している期間は従い陽気な生活を送ることができた。日本に帰ってもオーストラリアでの陽気さを保つことができたなら、きっと今まで以上に楽しい生活が送れることであろうと思っ

た。しかし、陽気なオーストラリアにも日本よりも危険なこともある。持ち物を紛失してしまった場合は、もう二度と戻ってこないことや、夜遅くに街をぶらついている場合は、怪しい勧誘や金品を狙った輩に狙われることが考えられるので日本にいるときよりも注意して生活しないといけないと感じた。さらに、交通機関の遅れは茶飯事で、予定よりも十分は早めに行動を始めなければならぬので、規則だてた生活が送れるようになったのは、いい影響であると考えている。

今回の留学で満足できたことは語学力を高められたことによるものよりも、今まで日本では会えなかった外国の人たちに、今まで使ってきた日本語以外の言葉で話すことができ

たことであった。たくさんの人たちとつながることができた経験や、自分が今まで習ってきた英語が現地で本当に通じるものであると証明できたことが何よりうれしかった。できればまた行きたい。

東北財経大学中国語研修

経済学科 大江 結 衣

この研修を通して、私は多くのことを学ぶことができました。

日本で中国語の勉強をしていた時は文法中心の授業でしたが、この2週間は発音中心の授業でした。中国語はイントネーションが難しく、文法ができればよいという考えでしたが、実際の日常生活ではイント



旅順 関東群司令部旧址博物館 後列左端大江さん

平成26年度の主な留学先

国名	大学名	留学者数
アメリカ合衆国	ミシガン州立大学連合	13(12)
オーストラリア	ディーキン大学	2(2)
メキシコ	グアナフアト大学	6(5)
中国	東北財経大学	5(5)
韓国	啓明大学	1(0)
タイ	チェンマイ大学等	13(11)
ノルウェイ	ブスケレード・ベストフォールド大学	2(0)
台湾	国立高雄大学	1(0)

※経済学部生を掲載、()は短期研修者数で内数。

ネーションが異なるだけで聞き取ってもらえないことも多く、発音の大切さを改めて実感しました。また、チューターや店の店員など中国人と交流する時に語彙力が低く、自分が伝えたいことが伝わらないもどかしさがありました。日本では見慣れない光景や習慣に戸惑い驚くこともたくさんありましたが、日に日に慣れ、楽しく過ごしましたが、この文化についても触れることができ、この2週間は、私にとつてとても良い経験となりました。

就職活動と支援

就職支援について、そして支援についての雑感

経済学部特任准教授

就職支援室長 小野 晶生

後援会の皆様におかれましては、平素より経済学部の支援活動に多大のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学部の就職状況の特徴

本学部の卒業生は、前身の旧制彦根高等商業学校時代からの90余年の伝統を受け継ぎ、各方面で活躍しています。大多数は、金融・保険・商業・製造業・IT業界等全国的規模で経済界に進出し活躍しています。が、官公庁・教育界・学界へも進出しています。

本学部は伝統的に高い就職率を誇っています

- 1、昨年（平成26年）度の就職状況
- ① 本学部の就職決定率は一昨年（93.6%）を1.8ポイント上回る95.4%。

*就職決定率＝就職決定者／就職希望者

- ② 業種別就職先では、伝統的に4人に1人は金融業に進む傾向が続いておりませんが、近年は製造業の復調に伴い、この2業種が拮抗するようになってきました。

続いて、卸売業と官公庁が各1割弱と続き、IT業界や小売業が各7.8%を占めるといいう構成になっております。

- ③ 企業規模別では、大企業への就職率が6割強と大企業志向は伝統的に変わらないといえます。

2、昨年（平成26年）度は、経団連倫理憲章見直し3年目。前年度と同様、昨年12月1日から企業の採用広報が開始となりましたが、前倒し傾向が前年よりも更に進展しました。リクルーターとかOB/OGによる活動により、早期の困り込みが横行した模様です。倫理憲章では採用選考開始日となっている4月1日過ぎには内定出しが続出しました。

本年（平成27年）度から就職戦線は大変化

本年（平成27年）度から、3回生の時の学業への支障を極力避けるという大義名分に基つき、就職活動・採用活動に大きな転機が訪れました。

- 企業の採用広報開始は3回生の3月から（従来は3回生の12月）と3か月後倒し。
- 選考開始は4回生の8月から（従来は4回生の4月）と4か月後倒し。

● 内定は4回生の10月（従来も4回生の10月・9月末までは内々定）で変わらず。

本学部及び就職支援室の進路・就職サポート

それでは、前述のような就職戦線の動向に対しての本学部の取り組みを紹介させていただきます。次のように十二分過ぎる位に充実したサポート体制が準備されています。

- ① SUCCES (滋賀大学キャンパス教育支援システム＝Shiga University's Campus Computer Education Support System) メインの「就学情報」以外に「就職情報」や「インターンシップ情報」収集に大いに活用できます。

- ② 『彦根キャンパス求人情報提供システム』

「滋賀大学経済学部生」が欲しいという熱い想いを込めて、企業・団体等から年間延べ約1,300件の求人票が寄せられています。各学生のしがたいID・パスワードにより自宅のPCからでもアクセス可能です。

- ③ 就職支援室での就職相談・進路・就職に関する相談なら何でもOKです。原則週4日です、電話



求人情報提供システム



就職支援室での相談風景

- ④ 予約制になっていきます。TEL:0749-27-1033 毎年延べ350人前後の学生が相談を寄せています。就職支援室での情報提供

- (1) 個別企業からの企業情報及び業界情報の集約
- (2) 個別企業・団体からの求人情報・企業説明会情報の集約
- 『彦根キャンパス求人情報提供システム』
- (3) OB/OG訪問のための情報提供
- (4) 進路決定者からの「進路報告書」の集約
- ↓後輩たちの就活への貴重なアドバイス



就職相談室の室内

- ⑤ (5) 就職活動関連の書籍・雑誌・日経新聞等の集約
- (6) 就職講座・ガイダンス等の動画視聴・資料提供
- (7) 大学連携及び公募型インターンシップ情報の集約
- (8) 公務員情報、大学院情報、税理士等専門職情報も集約。
- (9) PC活用による就職情報収集

就職支援室長による1回生対象

の『滋賀大学で学ぶ卒業後の進路と就職支援』、2回生対象の『2回生のための就職ガイダンス』、3回生対象の『就職基礎講座〜就職活動の進め方』、『就職基礎講座〜採用選考準備』の各講座。

⑥ 就職ガイダンスなどの充実した支援プログラム

⑦ 教職員による企業への採用人数拡大要請

⑧ 就業力育成支援室での支援

本学部の特徴として、本学部卒業生による数々の就職支援

本学部の同窓会組織である「陵水会」のバックアップを中心にして、次のような支援が準備されています。

(1) 「学内合同企業説明会」… 本年は3月・4月に実施し、卒業生が就職をしてお世話になっている企業で、有名大手企業中心に188社が参加してくれました。昨年は168社でした。(2) 陵水懇話会… 卒業後25年の先輩たち10数名にお見えいただき、業界紹介を中心に働くという点につき、いろいろと懇談してもらいます。昨年は160名ほどの学生が参加しました。

(3) 陵水若手卒業生による就活相談会… 陵水懇話会と比較してより学生に近い年代の先輩たちが自主的に運営してくれている相談会です。卒業後10年未満の先輩たち約10人が出席してくれて、学生たちも毎回50名程度が参加しています。年2回開

催です。

(4) 陵水会計人会懇話会… 伝統的に卒業生の公認会計士とか税理士を多数輩出しておりますが、本学部の学生たちにも志望者は沢山います。先輩たちの現役の会計士・税理士の方をお招きして、会計士・税理士の仕事、勉強の仕方などについて忌憚のない意見交換をしていただく懇話会です。

(5) 女子学生のための陵水OGキャリアガイダンス… 女性の働く力が大きいに求められる時代になって参りました。本学部も女子学生が1/3を占めております。

働くOGと女子学生による女性同士の懇談会により、働く女性のロールモデル形成に努めています。

(6) ゼミを通じての後輩支援

(7) 部活を通じての後輩支援

(8) OB/OG訪問への協力など

人生をどう生きるか、どう働くかを考えてください

前述のような手厚い進路・就職支



陵水OGキャリアガイダンス

援のためのサポート体制が準備されているわけですが、学生のみなさんには、精神的にも、経済的にも充実した、豊かで楽しい幸せな人生を歩んで欲しいものだと願っています。

一度きりしかない自分自身の人生にはいろいろな生き方があり、働き方があると思います。本学部の学生のみなさんはほとんどが企業なり官公庁なりへの「就職」を選ばれるわけですが、「就職」というのもいろいろな働き方の一つに過ぎません。いきなり「就職」ではなく、「人生をどう生きるか、どう働くか」から考えて欲しいと思います。『滋賀大学で学ぶ』ということは、そのための時間が与えられたということだと思えます。3回生、4回生になってから考えるのでは、かなり「手遅れ感」があります。

「履歴書」「エントリーシート」にちゃんとした内容が書けるような充実した学生生活を

『滋賀大学経済学部』のブランド価値は高いと思います。しかし、滋賀大学経済学部で学んでいることがすなわち「いい就職先」への就職に繋がるわけではありません。漫然とした日々を送るのではなく、目的意識を持って充実した学生生活を送ることが十分条件になってくるでしょう。

と経験・体験することにより、自身の人生をどう生きるか、どう働くかを自分自身の頭で考え、判断・決断し、自分自身で行動できることになることだと思います。

GIRLS BE AMBITIOUS !!!

少子高齢化がものすごいスピードで進んでいます。労働力不足が我が国の行く末を支える上での最重要課題になってきています。移民論議もありませんが、まず女性と高齢者の労働力を適正に活用することから考えてみるべきではないでしょうか。機会があるたびに女子学生のみなさんには経済的にも自立をしてください。そのためには一生働いてくださいと呼びかけ、提案しています。当然結婚も子供を持つことも大切なことです。そのためには、産休、育休、そして現場復帰が制度としてあるだけではなく、ちゃんと運用されている企業を選択の目安としてくださいと話しています。また、一生働くからには管理職を目指し、社長の座も視野に入れてくださいとも話しています。

本学部にも元氣な女子学生が多くて、頼もしく心強いのですが、加えて改めて男子学生にはBOYS BE AMBITIOUS…と檄を飛ばしています。

「グローバル・スペシャリスト」が活かせる就職を

小職は機会があるたびに学生たち

に「彦根高商のDNA、近江商人の血」ということを話してきました。90余年前の彦根高商建学の折には、高宮の前川善三郎家、今日の伊藤忠商事、丸紅に繋がる伊藤忠兵衛家、伊藤長兵衛家など近江商人から多大な寄付、支援を受けたと聞いています。近江商人は江戸時代には天枰棒一本で全国を股にかけ、商いを拡大しました。また、明治維新後は東アジアを始め、米加といった北米にも雄飛しました。彦根高商建学以来、本学部は国内外に活躍する人材を輩出してきた歴史と伝統があると自負しています。いまこそ、学生たちには彦根高商建学の精神「士魂商才」のDNAのもと、グローバルな視点と志をもった「グローバル・スペシャリスト」に育って行って欲しいものだ」と期待しております。また、本学部のアイデンティティとミッションはそこにあると確信しております。

平成26年度就職状況

就職状況

経済学部特任准教授
就職支援室長 小野 晶生

1、平成26年度就職状況の総括

昨年（平成26年）度は、いわゆるアベノミクスによる大企業中心の景気の回復感があり、製造業を中心に全体の採用人数は増えました。長く続いた就職氷河期が様変わりし、

久々の「売り手市場」と言われる年になったのが一番の特徴と言えるでしょう。

但し、そうは言いながら、ここ数年連続している企業の「質重視の厳選採用」というハードルは必ずしも低くはなっていないかつたようです。従って、早々に複数の企業から内定を獲得して、ゴールデンウィーク明けに就職活動を終える学生がいる一方で、就職活動が長期化する学生との二極化が顕著になってきていると言えるでしょう。

2、平成26年度の本学部の特徴

①就職決定率は更に改善
平成26年度就職決定率は95.4%となっており、一昨年の93.6%より1.8ポイント向上しました。リーマンショック直前の高水準まで回復してきたと言えるでしょう（23年度90.9%↓24年度93.3%↓25年度93.6%）。

本年度、印象的だったことを補足しておきますと、学生たちが遅くまで就職活動を継続して頑張ったことが就職決定率の押し上げに寄与しているように思われます。求人が遅くまであったことに加えて、本年度から就職戦線のスケジュール、様相が大きく変わることから、昨年度中に決着しておこうとの心理が働いたのかも知れません。（参考・就職決定率Ⅱ就職者数/就職希望者数Ⅱ516名/541名）

②業種別就職先では、製造業復活が鮮明になったことを反映して23.4%と最多となり、金融業23.3%を僅差ではありながら逆転したことが特筆すべき点でしょう。製造業の一昨年来の伸長ぶりが顕著です（24年度18%↓25年度23%）。官公庁9.1%、情報通信業7.9%、卸売業5.8%と続きます。

③次頁の「平成26年度就職状況 進学先・就職先一覧」をご覧いただければお分かりのように、学生の「売り手市場」を受けて、就職先企業の大企業志向は変わらないと言えます。特に、次の点が特徴的だったと思われる。

(1) 38年ぶりに就職者の出た「住友商事」とか、久しぶりに就職者の出た「サントリーホールディングス」や「日本郵船」「日本航空」「小松製作所」などが特筆されるでしょう。

(2) 製造業の後塵を拝したとはいえ、金融業も23.3%と堅調でした。個別にみると滋賀銀行が復活し、13名。大垣共立銀行10名、十六銀行8名、京都銀行7名、関西アーバン銀行5名と続きます。但し、3メガバンクへの就職が少ないのが少し気掛かりです。製造業との競合に後れを取ったとの見方もあります。

④企業にとっては厳選採用するためのある一定の母数を確保するための母集団形成が困難となり、採用を目

標とする大学への積極的なアプローチが試みられました。本学部でもGW明け以降の学内での個別企業説明会（企業によってはプラス選考会）が延べ30社を数えました。一昨年とはほぼ同数でした。滋賀大学経済学部ブランドは健在だと実感した次第です。

3、本年（平成27）度就職状況の展望

就職戦線は大きな変動を迎えていません。

就職活動の早期化を是正し、「3年次の学業を全うさせる」と「海外留学がしやすい環境整備」を趣旨とした安倍政権の要請に基づき、日本経団連は就職活動の指針を見直しました。企業の採用広報開始は大学3回生の3月からと、従来の3回生の12月から3か月の後ろ倒し、そして採用選考は4回生の8月からと、従来の4回生の4月から4か月の後ろ倒し、内定は4回生の10月（これは従来と変わりません。9月末までは内々定です。）と大幅に変更になりました。“短期決戦”が喧伝されましたが、結果的には、“就職戦線は長期化する”と予想されます。

既に、就職戦線真ただ中の中わけですが、企業、学生、大学とも手探り状態で活動しているというのが実情です。8月選考開始遵守と宣言している経団連傘下の大手企業への就職希望が多い本学部でも同様のことが言えます。

会社名	計	男子	女子
111 矢崎総業(株)	1	1	
112 ヤマハ発動機(株)	1	1	
113 ヤンマー(株)	1	1	
製造業 (その他の製造)			
114 (株)イーキ	2		2
115 (株)イワサキ	1	1	
116 小松ウオール工業(株)	1	1	
117 シービー化成(株)	1	1	
118 新江州(株)	1		1
119 セネファグループ	2		2
120 タカラスタンダード(株)	1	1	
121 中央紙器工業(株)	1	1	
122 (株)日東製陶所	1	1	
123 (株)フジシール	1	1	
電気・ガス・熱供給・水道業			
124 関西電力(株)	1	1	
125 (株)マルエイ	1	1	
情報通信業			
126 アビームシステムズ(株)	1		1
127 アルファテック・ソリューションズ(株)	1		1
128 石川テレビ放送(株)	1	1	
129 NECソリューションイノベータ(株)	1		1
130 NTTビジネスソリューションズ(株)	1	1	
131 MUS情報システム(株)	1	1	
132 (株)大塚商会	1	1	1
133 (株)科学情報システムズ	1	1	
134 共立コンピューターサービス(株)	1	1	
135 (株)さくらケーシーエス	1		1
136 (株)サンテレビジョン	1	1	
137 (株)システムサービス	1	1	
138 (株)システムディ	1	1	
139 (株)スターインフォテック	1	1	
140 (株)ソフトウェア・サービス	1		1
141 ソフトウェア情報開発(株)	1	1	
142 (株)第一コンピュータリソース	1	1	
143 (株)大和コンピューター	1		1
144 辰巳電子工業(株)	1	1	
145 中部テレコミュニケーション(株)	1	1	
146 TIS(株)	2	1	1
147 (株)テクノア	2	1	1
148 トヨタ情報システム愛知(株)	1	1	
149 (株)トヨタマップマスター	1		1
150 日本アイ・ピー・エム・サービス(株)	1	1	
151 日本アイ・ピー・エム・ソリューション・サービス(株)	1	1	
152 日本システムソリューションズ(株)	1	1	
153 日本メディアシステム(株)	1	1	
154 ネットワンシステムズ(株)	1	1	
155 (株)ハートコンピューター	1		1
156 (株)光通信	1	1	
157 (株)富士通エフサス	1	1	
158 (株)プロコーポレーション	1	1	
159 マインドフリー(株)	1	1	
160 三菱総研DCS(株)	1	1	
161 桑天(株)	1		1
162 (株)レジェンド・アプリケーションズ	1	1	
163 (株)ワークスアプリケーションズ	2	2	
運輸業・郵便業			
164 SGHグローバルジャパン(株)	1	1	
165 大阪モノレールサービス(株)	1	1	
166 (株)サカイ引越センター	1	1	
167 (株)住友倉庫	1	1	
168 全但バス(株)	1	1	
169 東海旅客鉄道(株)	1	1	
170 (株)日本郵船	1	1	
171 日本航空(株)	1	1	
卸売業			
172 伊藤忠商事(株)	1	1	
173 伊藤ハムミート販売(株)	1	1	
174 植松商事(株)	1	1	
175 MXモバイル(株)	1	1	
176 (株)オリビア	1	1	
177 郡峰工業(株)	1	1	
178 三光機工(株)	1	1	
179 サンヨーインダストリー(株)	1	1	
180 住友商事(株)	1	1	
181 大洋(株)	1	1	
182 ダンロップタイヤ近畿(株)	1	1	
183 (株)ソカサ	1	1	
184 豊島(株)	1	1	

会社名	計	男子	女子
37 太陽日酸(株)	1	1	
38 武田薬品工業(株)	1	1	
39 東和薬品(株)	1	1	
40 (株)ナリス化粧品	1	1	
41 日本新薬(株)	1	1	1
42 日本臓器製薬(株)	1	1	
43 ノボノルディスクファーマ(株)	1	1	
44 フクビ化学工業(株)	1	1	
45 持田製薬(株)	1		1
46 ヤマウチ(株)	1	1	
47 (株)麗光	1	1	
製造業 (鉄鋼業・非鉄金属・金属製品)			
48 小川工業(株)	1	1	
49 (株)神戸製鋼所	1		1
50 (株)ゴーシュー	1	1	
51 住友電気工業(株)	3	1	2
52 中央発條(株)	1	1	
53 (株)長府製作所	1	1	
54 (株)傳來工房	1	1	1
55 YKK(株)	1	1	
製造業 (はん用・生産用・業務用機械器具)			
56 (株)アマダシンツール	1	1	
57 井関農機(株)	1	1	
58 NTN(株)	1	1	
59 オークマ(株)	1	1	1
60 (株)クボタ	2	1	1
61 (株)児島製機	1	1	
62 (株)小松製作所	1	1	
63 CKD(株)	1	1	
64 島津プレジジョンテクノロジー(株)	1		1
65 新東工業(株)	1	1	
66 日本精工(株)	1	1	
67 日本電産シンボ(株)	1	1	
68 (株)日立建機ティエラ	1		1
69 日立造船(株)	1	1	
70 (株)不二越	1	1	
71 フジテック(株)	1	1	
72 (株)マキタ	1	1	
73 村田機械(株)	2	2	
74 (株)メニコン	2	1	1
75 ヤマザキマザック(株)	1	1	
76 山科精器(株)	1	1	
77 理研計器(株)	1	1	
製造業 (電子部品等製造)			
78 京セラサーキットソリューションズ(株)	2	2	
79 立山電化工業(株)	1	1	
80 ニチコン(株)	1	1	
81 パナソニックデバイスSUNX(株)	2	2	
82 ローム(株)	1		1
製造業 (電気・情報通信機械器具)			
83 愛知電機(株)	1	1	
84 (株)遠藤照明	1	1	
85 オムロン(株)	1	1	
86 オムロンソーシャルソリューションズ(株)	1	1	
87 京セラドキュメントソリューションズ(株)	1	1	
88 コニカミルタ(株)	1		1
89 星和電機(株)	1	1	1
90 東洋航空電子(株)	1	1	
91 日東工業(株)	1	1	
92 (株)日立製作所	1		1
93 富士通(株)	1	1	
94 ホーチキ(株)	1	1	
95 北陽電機(株)	1	1	
96 (株)堀場製作所	1	1	1
97 三菱電機(株)	1	1	
製造業 (輸送用機械器具)			
98 アイシン・エイ・ダブリュ(株)	1	1	1
99 アイシン精機(株)	3	3	
100 アイシン高丘(株)	1	1	
101 愛知精工(株)	2	1	1
102 エーモン工業(株)	1	1	
103 川崎重工工業(株)	1	1	
104 三共鋼業(株)	1	1	
105 住友電装(株)	1	1	1
106 (株)デンソー	3	3	
107 (株)豊田自動織機	1	1	
108 Nissin Manufactura de M'exic S.A. de C.V.	1	1	
109 浜名湖電装(株)	1	1	
110 本田技研工業(株)	1	1	

平成26年度就職状況

○進路別内訳	計	男子	女子
卒業生	572	373	199
進学者			
大学院	7	5	2
大学学部等	0	0	0
専修学校等	5	3	2
就職者			
企業就職	469	300	169
公務員	47	35	12
その他	44	30	14

進学先・就職先一覧

○進学先内訳	進学先	計	男子	女子
大学院進学				
1	京都大学大学院地球環境学舎			1
2	京都大学大学院法学研究科		1	
3	慶應義塾大学大学院経営管理研究科		1	
4	神戸大学大学院経営学研究科		1	
5	滋賀大学大学院経済学研究科		1	1
6	名古屋市立大学大学院経済学研究科		1	
専修学校入学				
7	EYE京都校			1
8	大原学園		2	
9	京都建築大学校		1	
10	東京アカデミー		1	

○就職先内訳 (産業別・業種別)	会社名	計	男子	女子
建設業				
1	旭化成ホームズ(株)	1	1	
2	(株)一条工務店	1	1	
3	(株)嵯峨ガスセンター	1	1	
4	(株)塩浜工業	1	1	
5	セキスイハイム近畿(株)	1	1	
6	積水ハウス(株)	2	2	
7	積水ホームテック(株)	1	1	
8	(株)銭高組	1	1	
9	大成建設(株)	1	1	1
10	大和ハウス工業(株)	1	1	
11	(株)高田工業所	1	1	
12	(株)竹中工務店	1	1	
13	タマホーム(株)	2	1	1
14	飛鳥建設(株)	1	1	
15	パナホーム(株)	1	1	
16	三菱電機プラントエンジニアリング(株)	1	1	
17	三菱電機ビルテクノサービス(株)	1	1	1
製造業 (食料品・飲料・たばこ・飼料)				
18	(株)伊藤園	1	1	
19	サントリーホールディングス(株)	1	1	
20	敷島製パン(株)	1	1	
21	宝酒造(株)	1	1	
22	名古屋製酪(株)	1	1	
23	(株)西野物産	1	1	
24	日本たばこ産業(株)	2	1	1
25	(株)浜乙女	1	1	
26	(株)フレッシュル	1	1	
27	丸信製粉(株)	1	1	
28	雪印メグミルク(株)	1	1	
製造業 (繊維工業)				
29	岡本(株)	1	1	
30	倉敷紡績(株)	1	1	
31	東洋紡(株)	1	1	
32	(株)ビームス	1	1	
製造業 (印刷・同関連業)				
33	(株)笠間製本印刷	1	1	
製造業 (化学工業・石油製品・医薬品等)				
34	サカタインクス(株)	1	1	
35	(株)ダイセル	1	1	
36	大鵬薬品工業(株)	1	1	

会社名	計	男子	女子
333 ㈱ダイナム	1	1	
334 ㈱ニラク	1	1	
335 ㈱テラウンドワン	1	1	
学校教育			
336 (国) 滋賀医科大学	1	1	
337 (国) 奈良女子大学	1	1	
その他の教育、学習支援業			
338 (有) 佳研スクール	1	1	
339 ㈱浜学園	1	1	
340 ㈱ワオ・コーポレーション	1	1	
医療・保健			
341 ㈱いかがく	1	1	
342 ぎふ総合健診センター	1	1	
343 (医) 八仁会 久御山南病院	1	1	
344 (独) 国立病院機構	1	1	
345 三重県厚生農業組合連合会	1	1	
社会保険・福祉			
346 社会保険診療報酬支払基金	1	1	
347 日本年金機構	1	1	
348 (社) 終野福祉会	1	1	
349 (独) 労働者健康福祉機構	1	1	
複合サービス			
350 あいち中央農業協同組合	1	1	
351 岐阜県農業協同組合中央会	1	1	
352 IA(しみの)	1	1	
353 日本郵便㈱	2	2	
354 兵庫西農業協同組合	1	1	
その他のサービス			
355 岐阜商工会議所	1	1	
356 三幸グループ	1	1	
357 ㈱スタッフサービス・ホールディングス	1	1	
358 WDB㈱	2	2	
359 テンプスタッフ・テクノロジー㈱	1	1	
360 ㈱トーカイ	1	1	
361 日清医療食品㈱	1	1	
362 ㈱ネオキャリア	1	1	
363 BtoBホールディングス	1	1	
364 彦根市男女共同参画センター	1	1	
国家公務			
365 金沢国税局	1	1	
366 厚生労働省 労働局	2	1	1
367 財務省 東海財務局	2	1	1
368 滋賀労働局	1	1	
369 名古屋法務局	1	1	
370 三重労働局	1	1	
371 陸上自衛隊	1	1	
地方公務			
372 愛西市役所	1	1	
373 明石市消防本部	1	1	
374 宇治市役所	1	1	
375 愛媛県庁	1	1	
376 大垣市役所	1	1	
377 大阪府警察	1	1	
378 海津市役所	1	1	
379 岐阜県市町村立中学校事務職員	1	1	
380 岐阜県庁	2	2	
381 京田辺市役所	1	1	
382 京都市役所	2	1	1
383 倉敷市役所	1	1	
384 高野町役場	1	1	
385 湖南広域行政組合	1	1	
386 坂井市役所	1	1	
387 滋賀県庁	4	4	
388 多賀町役場	1	1	
389 高槻市役所	1	1	
390 鳥取県警察	1	1	
391 鳥取県庁	1	1	
392 中津川市役所	1	1	
393 中能登町役場	1	1	
394 名古屋市役所	1	1	
395 羽島市役所	1	1	
396 半田市役所	1	1	
397 彦根市役所	2	2	
398 枚方市役所	1	1	
399 広島県庁	1	1	
400 三木市役所	2	2	
401 向日市役所	1	1	
402 横浜市役所	1	1	

会社名	計	男子	女子
261 敦賀信用金庫	1	1	
262 豊田信用金庫	2	2	
263 農林中央金庫	1	1	
264 浜松信用金庫	1	1	
265 碧海信用金庫	1	1	
266 大和信用金庫	1	1	
金融業（証券）			
267 大山日ノ丸証券㈱	1	1	
268 大和証券㈱	1	1	
269 東海東京証券㈱	1	1	
270 野村証券㈱	3	3	
271 三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱	1	1	
金融業（その他）			
272 京都信用保証協会	1	1	
273 滋賀県信用保証協会	1	1	
274 シャープファイナンス㈱	1	1	
275 新光投信㈱	1	1	
276 トヨタファイナンス㈱	1	1	
277 ㈱日本政策金融公庫	1	1	
278 三井住友アセットマネジメント㈱	1	1	
279 三菱電機クレジット㈱	1	1	
280 三菱UFJニコス㈱	2	1	1
281 ユーシーカード㈱	1	1	
282 ローズ・コモディティ㈱	1	1	
保険業			
283 あいおいニッセイ同和損害保険㈱	1	1	
284 ㈱かんぽ生命保険	1	1	
285 銀泉㈱	2	1	1
286 滋賀県民共済生活協同組合	3	1	2
287 住友生命保険相互会社	1	1	
288 全国共済農業協同組合連合会岐阜県本部	1	1	
289 全国共済農業協同組合連合会滋賀県本部	1	1	
290 損保ジャパン日本興亜㈱	4	1	3
291 第一生命保険㈱	1	1	
292 大同生命保険㈱	3	1	2
293 太陽生命保険㈱	1	1	
294 東京海上日動あんしん生命保険㈱	1	1	
295 東京海上日動火災保険㈱	3	3	
296 日本生命保険相互会社	4	1	3
297 三井住友海上火災保険㈱	2	2	
不動産取引・賃貸・管理業			
298 ㈱MDI	2	2	
299 三交不動産㈱	1	1	
300 大東建託㈱	2	2	
301 (独) 都市再生機構	1	1	
302 ㈱Vortex	1	1	
303 三井不動産レジデンシャルサービス㈱	1	1	
304 東海リース㈱	1	1	
305 ヒロセ㈱	1	1	
その他専門・技術サービス業			
306 アキナジスタ㈱	1	1	
307 アクセンチュア㈱	1	1	
308 有限責任 あずさ監査法人	1	1	
309 アチーブメント㈱	1	1	
310 ㈱アドプランナー	1	1	
311 オフィスティ・エヌ・エス㈱	1	1	
312 キタイ設計㈱	1	1	
313 ㈱クレオ	1	1	
314 KCCSマネジメントコンサルティング㈱	1	1	
315 gCストーリー㈱	1	1	
316 ShigApps㈱	1	1	
317 西濃会計事務所	1	1	
318 ㈱ナンバー	1	1	
319 ㈱日本経営	2	1	1
320 ㈱日本経済広告社	1	1	
321 税理士法人長谷川会計	1	1	
322 日高総合経営センター	1	1	
323 ㈱富士経済	1	1	
324 ㈱マーキュリー	2	1	1
325 税理士法人 富田会計	1	1	
宿泊業・飲食サービス業			
326 合資会社観湯温泉	1	1	
327 ドリームフーズ㈱	1	1	
328 ㈱星野リゾート・マネジメント	1	1	
329 ㈱本陣平野屋	1	1	
生活関連サービス			
330 ㈱ぐるなび	1	1	
331 ㈱TB西日本	1	1	
332 (株)スタンダード	1	1	

会社名	計	男子	女子
185 日本ハム東販売㈱	1	1	
186 ㈱ネイチャーズウェイ	1	1	
187 ㈱平田タイル	1	1	
188 廣川㈱	1	1	
189 福栄鋼材㈱	1	1	
190 富士ゼックス大阪㈱	1	1	
191 ブラザー販売㈱	1	1	
192 ㈱ブルーアンドペア	1	1	
193 ヘルスインターメソッド㈱	1	1	
194 ㈱ミスミグループ本社	1	1	
195 三谷商事㈱	1	1	
196 村地総合木材㈱	1	1	
197 村中医療器㈱	1	1	
198 明治電機工業㈱	1	1	
199 ヤンマーアグリジャパン ㈱中四国カンパニー	1	1	
200 ラサ商事㈱	1	1	
201 菱商商事㈱	1	1	
小売業			
202 ㈱青木商店	1	1	
203 ㈱アベックス	1	1	
204 イオンビッグ㈱	1	1	
205 イズミヤ㈱	1	1	
206 ㈱一歳	1	1	
207 ㈱梶原乳販	1	1	
208 ㈱近鉄百貨店	1	1	
209 ゲンキー㈱	1	1	
210 コスモス薬品㈱	1	1	
211 ㈱コム兵	1	1	
212 セブン-イレブン 愛荘町 市店	1	1	
213 ㈱セブン-イレブン・ジャパン	2	2	
214 ㈱大丸松坂屋百貨店	1	1	
215 ㈱ニトリ	1	1	
216 ㈱バロー	1	1	
217 ㈱BANKAN	1	1	
218 ㈱プレひまわり	1	1	
219 ㈱文苑堂書店	1	1	
220 ㈱平和堂	2	2	
221 ㈱ホンダカーズ岐阜	1	1	
222 ㈱マッシュスタイルラボ	1	1	
223 ㈱ヤマカワ	1	1	
224 ゆう薬局グループ	1	1	
225 ㈱ロソソ	1	1	
金融業（銀行）			
226 ㈱愛知銀行	1	1	
227 ㈱大垣共立銀行	10	7	3
228 ㈱関西アーバン銀行	5	2	3
229 ㈱紀陽銀行	4	2	2
230 ㈱京都銀行	7	4	3
231 ㈱近畿大阪銀行	1	1	
232 ㈱滋賀銀行	13	6	7
233 ㈱十八銀行	1	1	
234 ㈱十六銀行	8	7	1
235 ㈱新生銀行	2	2	
236 ㈱但馬銀行	1	1	
237 ㈱中国銀行	2	1	1
238 ㈱富山銀行	1	1	
239 ㈱名古屋銀行	1	1	
240 ㈱南都銀行	1	1	
241 ㈱百五銀行	1	1	
242 ㈱福岡銀行	1	1	
243 ㈱北陸銀行	2	2	
244 ㈱北國銀行	1	1	
245 ㈱三重銀行	2	1	1
246 ㈱みずほフィナンシャルグループ	1	1	
247 ㈱三井住友銀行	2	2	
248 ㈱三菱東京UFJ銀行	4	3	1
249 ㈱みなと銀行	1	1	
250 ㈱ゆうちょ銀行	1	1	
251 ㈱りそな銀行	2	1	1
金融業（協同組織）			
252 尼崎信用金庫	1	1	
253 いちい信用金庫	1	1	
254 大阪信用金庫	3	3	
255 岐阜信用金庫	3	1	2
256 京都信用金庫	3	2	1
257 京都市中央信用金庫	3	1	2
258 京都北都信用金庫	1	1	
259 呉信用金庫	1	1	
260 ㈱商工組合中央金庫	2	1	1

後援会資格取得等報奨制度について

「滋賀大学経済学部後援会資格取得等報奨制度」は、平成26年10月に創設され、日頃の学生諸君の勉学等を支援し、資質の向上を目的とするもので、サポート対象基準を満たすことによりその功績を称え報奨金を給付するものであります。

第1回目となる平成26年度の給付については下表のとおり、24件に対して目録贈呈が行われました。学生からは、ステップアップのための資金としたいとの頼もしい発言があり、今後も、多くの学生諸君から応募していただけるよう願っています。

また、学生諸君には、別途、学内においてお知らせしていますが、保護者の皆さまにおかれましても、ご覧いただいた上で、お子様にお伝えいただきたく存じます。

なお、制度の対象となる資格等や金額につきましては、今後運用を重ね、より良き制度に改善して行きたいと考えておりますので、会員の皆さまから是非ともご意見等お寄せいただければ幸いです。

【お問い合わせ】

滋賀大学経済学部総務係

TEL 0749-27-1030

平成26年度滋賀大学経済学部後援会資格取得等報奨制度給付一覧
(平成26年10月～平成27年1月末日までの受理分)

分類	サポート対象事項	基準	報奨額	給付件数	給付者氏名 (敬称略) ○数字は回生
資格・認定試験	税理士試験	「簿記論」、「財務諸表論」 いずれかに合格	80,000		
	公認会計士試験	短答式試験合格	100,000		
	日商簿記検定試験	1級合格	50,000		
	証券アナリスト試験	第1次レベル試験合格	30,000	3	・丹羽伸茂④・野間優也③ 他 1名
		第2次レベル試験合格	40,000		
	データベーススペシャリスト試験	合格	50,000	1	・松尾匡浩③
語学試験	TOEIC (公開テスト)	800点以上	50,000	16	・今西弘敬④・山崎巳沙妃① ・長澤秀哉④・谷口紘也② ・勝間勇介③・尾関隆亮④ ・上野 肇②・丹羽一憲④ ・藤原崇史④・小野木俊介③ ・岩本尚也④・梶井啓太郎③ 他 4名
学 留	本学交換留学制度に基づく海外留学	アジア圏地域	40,000		
		その他の地域	80,000	1	・丹羽峻太④
その他	公認会計士試験	論文式試験合格	100,000	2	・小澤綜一郎③・藤川裕太④
	日経 TEST 「学生団体対抗戦」	団体賞1位	50,000	1	・株式投資研究会チームA

- 注) ① 給付者氏名については、氏名を公表することの承諾を得た学生の方のみ記載しています。
 ② 「資格試験」については、同一基準での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。
 ③ 「語学試験」については、同一言語での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。また、試験言語を、母語とする者は申請できない。
 ④ 編入学試験又は帰国子女入試枠で学部に入学者及び外国人留学生が、語学試験で申請する場合は、事前に問い合わせることとする。
 ⑤ 後援会費を未納の場合は対象としない。
 ⑥ 報奨額については、経済学部後援会役員会の議を経て調整することができる。
 ⑦ 本ガイドラインの改廃は、経済学部後援会役員会の議を経て決定する。

後援会総会

4月6日(月)入学式後に開催されました経済学部後援会総会には、多数の皆様のご出席をいただきありがとうございました。

総会では、戸田後援会会長、小倉経済学部長の挨拶、平成26年度決算及び27年度予算案の審議、新委員の選出があり、続いて、学務関係事項及び学生関係事項の説明、就職状況について報告がありました。総会で承認されました平成26年度決算及び27年度予算について、出席いただけなかった会員の皆様に、ここに決算書と予算書を掲載させていただきます。

平成26年度 経済学部後援会収支報告

収入

(単位：円)

前年度繰越額	848,453	
会費(学部新入生)	8,655,000	577人×@15,000
会費(編入生)	120,000	16人×@7,500
会費(大学院新入生)	180,000	24人×@7,500
会費(在学生(学部生))	15,000	1人×@15,000
利息	1,056	
収入合計	9,819,509	



後援会総会

支出

(単位：円)

科目	予算額	決算額	過不足額	備考
① 厚生体育費補助	3,120,000	3,091,804	28,196	近国体運営費、大会出場者交通費、課外活動等補助
② 文化活動補助	1,440,000	1,399,458	40,542	開学祭、滋大祭、課外活動等補助
③ 学生研究調査費補助	70,000	67,500	2,500	学生懸賞論文副賞、優秀卒業論文副賞
④ 学務関係補助	1,374,000	1,304,631	69,369	TOEIC-IP受験補助、成績送付経費等
⑤ 就職補助費	800,000	800,000	0	合同企業説明会等参加経費、OB懇談会経費
⑥ 団体分担金	140,000	132,000	8,000	会費、学会開催経費等補助
⑦ 研究所等補助	450,000	450,000	0	資料購入、運営費等補助
⑧ 入学式・卒業式等経費	300,000	159,946	140,054	入学式、総会経費、卒業式経費補助
⑨ 広報費	420,000	531,799	-111,799	後援会だより印刷費、送料
⑩ 渉外費	550,000	384,466	165,534	学部事業補助、慶弔費等
⑪ 総務費	28,000	30,932	-2,932	通信費等
⑫ 外国人留学生後援会援助費	50,000	50,000	0	留学生後援会援助
⑬ 経済学部記念事業援助費積立	100,000	100,000	0	
⑭ 予備費	977,509	67,500	910,009	
支出合計	9,819,509	8,570,036	1,249,473	

平成26年度 図書充実費収支報告

収入

(単位：円)

支出

(単位：円)

科目	決算額	備考
前年度繰越額	703,475	
会費(学部新入生)	577,000	577人×@1,000
会費(編入生)	8,000	16人×@500
会費(大学院新入生)	12,000	24人×@500
会費(在学生(学部生))	1,000	1人×@1,000
利息	168	
収入合計	1,301,643	

科目	決算額	備考
図書購入費等	532,372	
次年度繰越額	769,271	
支出合計	1,301,643	

平成26年度 体育充実費収支報告

収入

(単位：円)

支出

(単位：円)

科目	決算額	備考
前年度繰越額	476,731	
会費(学部新入生)	577,000	577人×@1,000
会費(編入生)	8,000	16人×@500
会費(大学院新入生)	12,000	24人×@500
会費(在学生(学部生))	1,000	1人×@1,000
利息	107	
収入合計	1,074,838	

科目	決算額	備考
近国体分担金	250,000	
ゴルフ実習費	291,499	
スキー教室経費	132,400	
地域物品購入補助	235,188	
次年度繰越額	165,751	
支出合計	1,074,838	

平成27年度 経済学部後援会予算

収入 (単位:円)

科目	予算額	備考
前年度繰越額	1,249,473	
会費(学部新入生)	10,386,000	577人×@18,000
会費(編入生)	144,000	16人×@9,000
会費(大学院新入生)	216,000	24人×@9,000
利息	1,000	
収入合計	11,996,473	



後援会だより編集委員会

支出 (単位:円)

①厚生体育費補助	3,120,000	近国体運営費、大会出場者交通費、課外活動等補助
②文化活動補助	1,440,000	開学祭、滋大祭、課外活動等補助
③学生研究調査費補助	70,000	学生懸賞論文副賞、優秀卒業論文副賞
④学務関係補助	1,374,000	学務関係諸経費補助、TOEIC-IP受験補助、成績送付経費等
⑤就職補助費	800,000	合同企業説明会等参加経費補助
⑥団体分担金	140,000	会費、学会開催経費等補助
⑦研究所等補助	450,000	資料購入、運営費等補助
⑧入学式・卒業式等経費	270,000	入学式、総会経費、卒業式経費補助
⑨広報費	450,000	後援会だより印刷費、送料
⑩渉外費	550,000	学部事業補助、慶弔費等
⑪総務費	28,000	通信費等
⑫外国人留学生後援会援助費	50,000	留学生後援会援助金
⑬資格取得等報奨金	1,791,000	資格取得等報奨金
⑭経済学部記念事業援助費積立	100,000	
⑮予備費	1,363,473	
支出合計	11,996,473	

平成27年度 図書充実費予算

収入 (単位:円) 支出 (単位:円)

科目	予算額	備考	科目	予算額	備考
前年度繰越額	769,271		図書購入費等	700,000	
会費(学部新入生)	577,000	577人×@1,000	予備費	666,431	
会費(編入生)	8,000	16人×@500			
会費(大学院新入生)	12,000	24人×@500			
利息	160				
収入合計	1,366,431		支出合計	1,366,431	

平成27年度 体育充実費予算

収入 (単位:円) 支出 (単位:円)

科目	予算額	備考	科目	予算額	備考
前年度繰越額	165,751		近国体分担金	200,000	
会費(学部新入生)	577,000	577人×@1,000	ゴルフ実習費	200,000	
会費(編入生)	8,000	16人×@500	スキー教室経費	200,000	
会費(大学院新入生)	12,000	24人×@500	予備費	162,851	
利息	100				
収入合計	762,851		支出合計	762,851	

平成27年度 後援会役員名簿

会長	戸田 茂	幹事	中村 愛子	委員	小林 哲也
副会長	河合 宏治	監事	田口 誠一	委員	廣部 重喜
副会長	富田 圭一	監事	辰村ひろ子	委員	前田 雄治
幹事	横田 修	委員	中村はるひ	委員	中村きよみ
幹事	平野 義和	委員	福岡うた子	委員	中村まゆみ
幹事	伊藤 正之	委員	福嶋 美子	委員	大橋 良英
幹事	伏木 和禎	委員	西川みどり	委員	横幕 栄子

編集後記

本後援会だよりは本学部の次のURLでもご覧いただけます。

<http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=31>

会員の皆様の記事についての感想や要望、後援会や経済学部に対する要望、ご意見等を郵送又はFAXでお聞かせください。

〒522-8522 彦根市馬場一丁目1-1

滋賀大学経済学部

FAX: 0749-27-1132

TEL: 0749-27-1030